

ちゅうがっこう がくしゅう つぎ しゃかい にな こ 中学校での学習は…次の社会を担う子ども



小郡市の中学生は
どんなことを学習
しているんだろう？



中学校での人権に関する学びの大きな
柱は、「人権学習」と「仲間づくり」
なんだよ。くわしく見ていこう。

人権学習

人権学習は部落問題をはじめとしたさまざまな人権課題を解決し、自分も自分の周りの人も大切にされる社会をつくるための学習です。その一つが「統一応募用紙」の学習です。

統一応募用紙

以前の就職時には、「社用紙」（企業が作成した履歴書）が使われていました。そこには、本籍地や家族欄など就職差別につながる項目が多数ありました。そこで、それらを削除して本人の能力を中心に記載する「統一応募用紙」の使用が始まり、現在はより公正で公平な採用の実現につながっています。

このことは、多くの人が就職試験のときに感じていた理不尽な不安の解消につながりました。

入試のときに「面接」がある高校も多くなっている。だから、面接とか採用試験というものには興味をもっている3年生は多いと思うよ。

就職のときに、質問される内容がどんなものだったら納得できるのかを考えて、過去の社用紙についてのおかしさに気づいていったよ。自分だけでなく周りの仲間のことを考えながら学んでいくことは素敵なことだね。そして、部落解放運動によって内容が少しずつ改善され、今の統一応募用紙が使われるようになったこと。これは、安心して暮らせる世の中をつくることだと学んだんだ。



かつて使われていた「社用紙」

<p>本籍欄あり</p> <p>保護者欄あり</p> <p>就職と関係ない情報がたくさん</p>	<p>家族欄あり</p> <p>住居のことや地図まで</p>
---	--

現在の「統一応募用紙」

<p>現住所のみ</p>	<p>取得した資格等</p> <p>趣味・特技等</p> <p>志望の動機</p>
---------------------	--



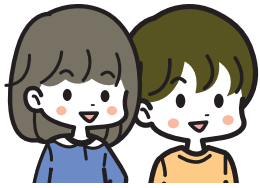
人権学習は、自分が何を大切に生きていくか、「生き方の学習だ」という中学生もいるよ。

ぎ む きょうい くさい ご まな たちの義務教育最後の学びです



仲間づくり

すべての人が安心して過ごせるために、部落差別をはじめとするあらゆる差別を見抜き、許さないこと、さらに差別をなくす行動が必要です。これからの社会をつくっていくのは子どもたちです。その一人ひとりの人権感覚を磨く取組として「仲間づくり」があります。



「仲間づくり」のためにどんなことをしているの？

班活動

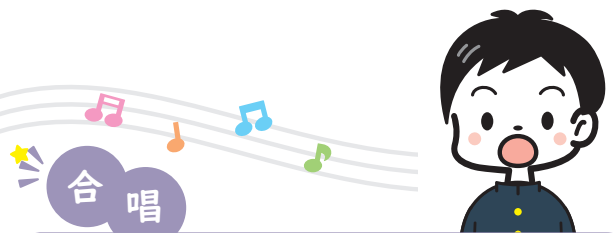


班活動があります。

給食や清掃の活動を、班の仲間と一緒に取り組めるようにしています。またお互いの思いを伝えられるように、班ノートを活用しているところもあります。

学級より小さな集まりで活動するから、自分の考えや思いを出しやすくなります。そしてそのつながりを学級にも広げるようにしています。

班長会を開いて、班の仲間のことについて話しあうこともあります。



毎日の取組の中に、クラス合唱があります。声を合わせることは心を合わせることで、周りの仲間のことを考えながら合唱に取り組めます。文化発表会でも、コンクールとして取り組めますが、めざすのは仲間づくりです。みんなが本当につながっているのかをふり返し、楽しく歌えているのかを考えます。

卒業式のときには、仲間づくりの集大成として、自分も周りのみんなも感動することのできる合唱をつくりあげています。

